

東京スター銀行

- 時期： 10月下旬
- 日程： 1泊2日
- 参加人数： 約20名

目的：

自分を見つめ、信念を探り、覚悟を決める。

■ 行程

	時間	行程	備考	
初日	移動	8:00頃 - 14:00	東京駅～大槌町 *途中釜石にて昼食	東北新幹線&チャーターバス
		14:30 - 16:00	▷ 語り部ガイド	
		16:00 - 17:00	▷ 地元若者との対話	
		17:00 - 18:00	自由時間	
		18:00 - 20:00	▷ 懇親会	町内食事処
		20:00	宿泊先へ（釜石市）	
2日目		8:00	宿泊先発	
		8:30 - 11:00	▷ 林業体験活動	
		11:00 - 12:00	昼食	お弁当
		12:00 - 14:00	▷ クロスロード	
	移動	14:30 - 20:00	東京へ	

*旅行手配実施：株式会社JTB



頭取も参加しての新人研修を行いました。

研修ハイライト



■地元若者との対談

地元の若者から、震災後の心境の変化や、それをきっかけに始めた仕事への思い、そしてオモイと現実の間での葛藤、自分への苛立、自分を救ってくれた言葉や周りの人の思いなどを語ってもらいました。

入行して半年経つ東京スター銀行の新人達。彼が自分自身を振り返って語る反省点や自分の成長に、立場・生き方こそ違えど、共感する部分が多くあったようで、自分の今の仕事への向き合い方や心の持ち方を当てはめて考えたようです。

そのため、この後に行われた振り返りでは、人事部の上司が驚くような、新人たちの素直な今の気持ちが語られました。

■林業体験活動

NPO法人吉里吉里国の職員さんや地元の方々とともに、植樹活動を行いました。

「林業とは、先人の恩をもらう仕事。だから、植樹をして次の世代に恩を贈る」団体設立者から、そんな信念を語ってもらい、「ただの作業」と思っていた新人さん達の顔つきが変わりました。

植樹のあとは、伐採作業の見学などを通して、NPOの方々と話をし、「仕事に込めるオモイ」や「なぜ仕事をしているのか」という根本的な部分を、大きな視野で再度見つめ直すきっかけが出来たようです。



■ワークショップ

被災時や復興の過程で経験している「正解のない課題」を、グループごとに話し合い、結論を出してもらいました。意見が分かれる中で、いかにグループ内の「納得感」を最大限にして「決断」を下すのか。新人さん達は、対話に対話を重ね、「違い」ではなく「その背景にある思い」を重ね合わせる大切さと、決断のむずかしさを体感し、上司の役割の大変さや難しさ、葛藤にまで思いを馳せることができたようです。



参加者の声

- 同期にも素直に色々相談出来ていない自分がいる。少しずつでも、素直な自分を出していくことが、他人から信頼を得ることだと感じた。（新人女性）
- 自分は仕事にどんなオモイを込めるのか、込めていくのかを考えようと思った。（新人男性）
- 面談では、素直な言葉を語っていなかった新人が、今回の研修中や振り返りで、とても素直な言葉を語っていて驚いた。（人事担当女性）